

景観教育の取り組みについて（報告）

■背景・目的

本市では、地域の個性を活かした魅力的な景観づくりを推進しています。また、国土交通省で行っている景観まちづくり助成事業に選ばれた市立小学校では、総合的な学習の時間（以下、総合学習）等において、地域かるたやガイドブックの作成といった景観まちづくり学習に取り組んでいます。

当課では、景観づくりの普及活動の一環として、総合学習や社会科の授業の中で先生方のご協力のもと、子どもたちに向けた「まち探検」を行っています。景観を切り口にまちを見ることで、子どもたちが身近な景観へ目を向けて地域資源に関心や愛着を持つこと、子どもの頃からまちの見方を身に付けること、景観に対する価値観の多様性を理解することなど、景観教育を通して将来の景観づくりの担い手の拡充を目指しています。

■まち探検の流れ

以下の内容を基本とし、授業の目標や時間数、参加人数・学年等により先生方と実施内容を調整します。

1. レクチャー

- ・まちが様々な要素から構成されていること、まちの見方や成り立ちを説明
- ・「景観ビジョン」をもとに、景観を「空間」「営み」「感性」の3つの観点から説明

2. まち探検

- ・学校周辺の地図とカメラを持ち、まちを歩き、各自気になる場所や良い場所を撮影
- ・「感性」のキーワードをもとに、わくわくした、ほつとした等印象深い場所を記録

3. ワークショップ

- ・班に分かれて、大きな地図に「感性」のキーワードのシールを貼り景観を可視化
- ・班内で各自自分の撮影した場所についてキーワードを用いて説明
- ・班毎に良いと思う場所を決めて、全体に向けて発表



(使用教材)

- ① 景観ビジョン教材「感性」のキーワード（「景観ビジョン」より抜粋）
- ② “景観”を切り口にまちに出よう！（小学校の先生に向けた景観学習の手引き）

元気がでる	心温まる	ほっとする
楽しい	わくわくする	ロマンティックな
ときどきする	はれやかな	懐かしい
愛着のある	心地よい	誇らしい



■活動紹介（第15回表彰広報部会以降に実施したもの）

1. 平成30年10月 南山田小学校（都筑区）

テーマ：学校の中を「まち探検」！

学年：5年生 1学級 32人

対象教科：総合学習 時間：2.5時間

実施場所：校内

総合学習の目標：学校を“まち”に見立て、校内の景観をよくすること

ワークショップの生かし方：シールによって可視化された校内の印象をもとに、中庭のスロープに「元気が出る」絵や文字を描いた



2. 令和元年8月22日 瀬谷小学校（瀬谷区）※小学校教諭向け臨地研修

テーマ：「まち探検2.0」

参加者：瀬谷区小学校教諭 9人

（高学年担当4人、低学年担当5人）

対象教科：総合学習、社会科 時間：2.5時間

実施場所：駅前広場、商店街、寺など

研修の目標：従来のまち探検に景観の観点をとり入れることで、発展した学習内容を計画する

ワークショップの生かし方（予定）：今後のまち探検に「感性」のキーワードシール等を使用したいという意見が挙がった



3. 令和元年9月17日 阿久和小学校（瀬谷区）

テーマ：「だんち・大発見！」

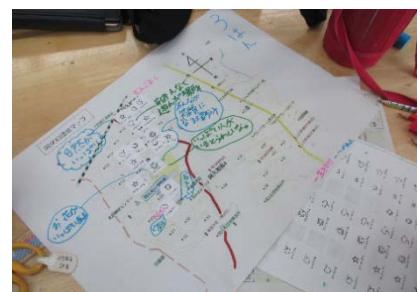
学年：3年生13人、4年生20人

対象教科：総合学習 時間：1.5時間

実施場所：阿久和団地、広場、公園など

総合学習の目標：見慣れた団地の魅力・個性を再発見すること

ワークショップの生かし方（予定）：魅力的な場所を紹介する新聞を作成し、団地内で掲示



4. 令和元年9月19日 「第7回 Yokohama 地域学校協働活動フォーラム」への参加

対象者：学校地域コーディネーター、市内小・中学校教諭等

ねらい：まち探検の事例紹介、「感性のキーワード」シールの配布を行うことで、先生方に景観の観点によるまち探検に関心をもってもらい、今後の景観教育の普及につなげる



■今後の活動予定

【先生向け】

- ・「空間」「営み」「感性」の各キーワードシールの素材をホームページで公表
- ・まち探検に必要な道具や所要時間、ワークショップの生かし方を整理したまち探検の事例集を配布

【子どもたち向け】

- ・レクチャーの導入として、親しみやすくわかりやすい、まち探検のアニメーション動画を作成